


【結核の健診を受ける方へ】

新	旧
<p>P7</p> <p>5 潜在性結核感染症とは？</p> <p><u>潜在性結核感染症とは、結核菌に感染はしていますが、結核の症状はなく、今後、発病するおそれがある状態です。</u></p> <p><u>結核は、過労や強いストレスを感じる生活が続いたり、糖尿病や他の病気等により、免疫力が低下しているときに発病をしやすくなります。</u></p> <p><u>潜在性結核感染症として、服薬治療をすることで、結核を発病する危険性を減らすことができます。</u></p> <p><u>治療は、イソニアジド (INH)、リファンピシン (RFP) のうち1剤、又は2剤を決められた期間服薬します。</u></p> <p><u>薬を飲み忘れて、自己判断で中断すると、発病を抑えられなかったり、薬が効かない菌（薬剤耐性菌）を作ってしまいます。最後まで欠かさず薬を飲むことが大切です。</u></p> <p><u>治療中は、周囲に感染させる心配はなく、学校や会社を休む必要はありません。</u></p> <p><u>この治療は、結核医療費公費負担制度の対象となります。</u></p> <p><u>治療中は、保健所が治療継続の支援をします。</u></p>	<div data-bbox="1220 327 1825 422"><h2>5 潜在性結核感染症とは？</h2></div> <p>結核菌に感染していますが、結核の症状はなく、今後、発病するおそれがある状態です。発病を抑えるために、原則としてイソニアジド (INH) を最低6か月間服用します。</p> <p>この内服についても医療費公費負担の対象になります。</p> <p>服薬中、特別な生活の制限はありません。</p> <p>しかし、結核は過労や強いストレスを感じる生活が続いたり、糖尿病などがあり、免疫力が低下している時に発病しやすくなります。</p> <p>また、発病を抑えるための内服も、不規則になったり中断してしまうと、発病を抑えられなかったり、薬が効かない菌（薬剤耐性菌）を作ってしまう。</p> <p>感染した結核菌が耐性菌である場合は、必要に応じて服薬内容も変更されます。薬は最後まで欠かさずに飲みましょう。</p> <div data-bbox="1456 941 1792 1228"></div> <p data-bbox="1512 1284 1534 1308">7</p>